

栃木県わがまち未来創造事業計画書(市町総括表)
 (単独・連携事業)

市町名	宇都宮市
-----	------

(単位:円)

No.	単事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	フェスタmy宇都宮	総事業費			6,269,530	6,585,000	6,585,000	19,439,530
		うち市町支出額			4,750,000	4,750,000	4,750,000	14,250,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
2	宇都宮ウオーキングフェスタ	総事業費		2,223,990	3,102,865	3,237,000	2,694,000	11,257,855
		うち市町支出額		1,200,000	1,700,000	1,700,000	1,400,000	6,000,000
		うち県交付金		600,000	850,000	850,000		2,300,000
3	フェスタin大谷実行委員会交付金事業	総事業費	4,124,531	3,692,551	3,485,347	4,671,144	4,000,000	19,973,573
		うち市町支出額	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	15,000,000
		うち県交付金	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
4	うつのみや食育フェア実行委員会交付金事業	総事業費	7,235,273	6,946,726	7,600,514	6,575,685	6,575,685	34,933,883
		うち市町支出額	6,347,000	6,075,000	6,619,540	5,755,000	5,755,000	30,551,540
		うち県交付金	0	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
5	宮っこフェスタ2019	総事業費	3,735,351	3,710,436	3,710,631	4,808,620	4,808,620	20,773,658
		うち市町支出額	2,527,000	2,527,000	2,527,000	3,808,620	3,808,620	15,198,240
		うち県交付金	0	0	0	1,000,000	2,000,000	3,000,000
6	未来につなげよう～わたくしたちのまち プロジェクト	総事業費				1,000,000	300,000	1,300,000
		うち市町支出額				500,000		500,000
		うち県交付金				250,000		250,000
7	「旧仮本陣芦谷家」を活用したまちづくりの拠点化事業	総事業費				650,000	100,000	750,000
		うち市町支出額				500,000		500,000
		うち県交付金				250,000		250,000
8	「わがまち西原」魅力発見事業	総事業費				1,040,000	580,000	1,620,000
		うち市町支出額				500,000		500,000
		うち県交付金				250,000		250,000
9	東地域【花のゆりかごみどりのさとおや】事業(仮称)	総事業費				650,000	65,000	715,000
		うち市町支出額				500,000		500,000
		うち県交付金				250,000		250,000
10	峰地区みんなの夢実現事業	総事業費				750,000	350,000	1,100,000
		うち市町支出額				500,000		500,000
		うち県交付金				250,000		250,000
11	陽光太鼓を活用したまちづくり推進事業	総事業費				500,000	80,000	580,000
		うち市町支出額				400,000		400,000
		うち県交付金				200,000		200,000
12	花いっぱい地域魅力創出事業	総事業費	0	0	500,000	50,000	50,000	600,000
		うち市町支出額	0	0	400,000			400,000
		うち県交付金	0	0	200,000			200,000
13	「豊郷まほろばの道」歩け歩け大会～蒲生君平生誕250年記念事業～	総事業費	178,746	175,092	340,075	149,000	149,000	991,913
		うち市町支出額	0	0	196,000			196,000
		うち県交付金	0	0	98,000			98,000
14	東地区魅力創出事業	総事業費	0	0	771,534	350,000	350,000	1,471,534
		うち市町支出額	0	0	500,000			500,000
		うち県交付金	0	0	250,000			250,000
15	歴史的文化資源を活用したまちづくり推進事業	総事業費	0	0	689,876	80,000	80,000	849,876
		うち市町支出額	0	0	500,000			500,000
		うち県交付金	0	0	250,000			250,000
16	河内の宝物と人の交流事業	総事業費		628,908	800,000	800,000	800,000	3,028,908
		うち市町支出額		500,000				500,000
		うち県交付金		250,000				250,000
17	「豊郷まほろばの道」魅力発信事業	総事業費		529,315	144,075	51,000	51,000	775,390
		うち市町支出額		400,000				400,000
		うち県交付金		200,000				200,000
18	「梵天の里上河内」魅力発信事業	総事業費		632,202	222,000	222,000	222,000	1,298,202
		うち市町支出額		500,000				500,000
		うち県交付金		250,000				250,000
19	城山ウェルカムフラワー「花いっぱい運動」推進事業	総事業費		626,045	100,000	100,000	100,000	926,045
		うち市町支出額		500,000				500,000
		うち県交付金		250,000				250,000
20	鬼怒川グルメフェスティバル・新米まつり	総事業費		768,715	504,600	504,600	504,600	2,282,515
		うち市町支出額		500,000				500,000
		うち県交付金		250,000				250,000
市町計	総事業費	15,273,901	19,933,980	28,241,047	32,774,049	28,444,905	124,667,882	
	うち市町支出額	11,874,000	15,202,000	20,192,540	21,913,620	18,713,620	87,895,780	
	うち県交付金	0	2,800,000	4,648,000	6,300,000	4,000,000	17,748,000	

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	フェスタmy宇都宮
事業主体の名称	宇都宮市民憲章推進協議会
代表者の名称	鎌倉 三郎
事業主体の所在	宇都宮市旭1丁目1番5号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:宇都宮市民憲章を啓発推進し、「心のかよいあう人間性豊かなまち宇都宮」の建設に寄与する。 ・設立年月日:昭和56年2月25日 ・構成員等:市内185の市民団体 ・市民憲章を更に普及啓発するため、これまで提唱事業として協力してきた「フェスタmy宇都宮」等を実施する「宇都宮市民の日実行委員会」と平成26年3月に組織一体化した。 ・普及啓発事業:「フェスタmy宇都宮」「宇都宮ウオーキングフェスタ」
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本事業は今年で開催32回目を迎え、毎年5万人以上が来場する、春を代表する本市のイベントとして定着しているが、イベント来場者へのアンケート調査では、会場が離れていることから移動が大変であるという意見が多く、効率的な移動方法等の検討が必要である。</p> <p>また、中心市街地の賑わいが戻りつつあるが、今後更なる活力の維持を図るため、市民活動団体や企業も含めたつながりを持つことで、まちづくりの相乗効果を生み出す必要がある。</p>
事業目的	市民憲章を具現化し、心豊かな宇都宮市を創造することを期する日として「市民の日」が制定されたことに伴い、フェスタmy宇都宮は4月1日の「市民の日」を記念し、市民憲章にある「明るく、楽しく、美しいまちづくり」を推進するため、市民が自由な発想で事業に参加し、工夫を凝らしながらまちづくりや郷土愛、コミュニティ意識を醸成することを目的として実施するもの。
事業概要	<p>郷土愛や地域コミュニティ意識の醸成、市民活動団体等の繋がり拡大のため、「フェスタmy宇都宮2019」を実施する 【開催日時、場所】平成31年5月19日(日) 宇都宮市中心市街地5会場 (宇都宮城址公園、オリオンスクエア、パンバひろば、中央市民活動センター、まちかど広場) 【内容】約190の参加団体によるブース出展や、歌や踊り等のステージ。 ・会場各所のチェックポイントを巡るスタンプラリーの実施。 ・本市出身のスラックライン選手「須藤美青さん」による世界No.1のパフォーマンスや一般の方へのスラックライン 体験のほか、新規企画として、ものづくりや体を動かす遊びなどを集めた「子どもの広場」を実施する。 【翌年度以降の取り組み】 事業の実施主体である市民の日実行委員会の組織のあり方や事業内容等は必要に応じて見直しが必要であるが、市民総参加型の事業として重要であることから、今後も継続して実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標2:人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る ・基本施策・市民協働によるまちづくりの推進。 ・KPI:自治会加入世帯数 H27.4 147,810世帯 → H31 148, 810世帯

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	フェスタmy宇都宮2018	フェスタmy宇都宮2019	フェスタmy宇都宮2020		フェスタmy宇都宮2021
事業費	6,269,530	6,585,000	6,585,000	19,439,530	6,585,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,750,000	4,750,000	4,750,000	14,250,000	4,750,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,519,530	1,835,000	1,835,000	5,189,530	1,835,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	みんなでまちづくり課
担当者名	岩崎 光紘
電話	028-632-2288
連絡先 FAX	028-632-3268
E-mail	u2207@city.utsunomiya.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	フェスタmy宇都宮	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	4,750,000	
参加負担金	350,000	
事業協賛金	760,000	
協議会繰越金	725,000	
計	6,585,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	50,000			50,000	
印刷製本費	470,000			470,000	パンフレット、ポスター
通信運搬費	60,000			60,000	郵送料
広告料	126,000			126,000	開催告知
保険料	31,000			31,000	傷害・賠償保険料等
委託料	5,560,000	4,750,000	1,000,000	810,000	会場設営、警備
使用料	68,000			68,000	携帯電話使用料、クリーニング代等
備品購入費	1,000			1,000	
報償費	148,000			148,000	謝礼金等
食糧費	70,000			70,000	運営委員昼食代
工事請負費	1,000			1,000	
計	6,585,000	4,750,000	1,000,000	1,835,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	宇都宮ウォーキングフェスタ
事業主体の名称	宇都宮市民憲章推進協議会
代表者の名称	鎌倉 三郎
事業主体の所在	宇都宮市旭1丁目1番5号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的 : 宇都宮市民憲章を啓発推進し、「心のかよいあう人間性豊かなまち宇都宮」の建設に寄与する。 ・設立年月日 : 昭和56年2月25日 ・構成員等 : 市内185の市民団体 ・普及啓発事業: 「フェスタmy宇都宮」「宇都宮ウォーキングフェスタ」
当該事業に係る地域の現状と課題	今年で開催25回目となり、継続して開催してきたことで秋のイベントとして市民に定着してきており、ウォーキングを通じた健康づくりが市民に浸透しつつあるが、近年の参加者数は横ばいとなっており、今後、参加者数を増やすための工夫が必要である。また、公道がコースとなっていることから、コース上における参加者の安全の確保が課題となっている。
事業目的	市民憲章で掲げている「健康で、心のかよいあう明るいまち」の具現化に向け、恵まれた自然と豊かな文化にふれあい人とひととの交流を深めること、歩くことの楽しさと心と体のバランスのとれた健康づくりをすすめること、いつでもどこでも気軽に楽しめる生涯スポーツを推進することを目的に開催するもの。
事業概要	<p>当該年度</p> <p>【開催日時、場所】 平成31年10月27日(日) 宇都宮市中心市街地(会場:宇都宮城址公園)</p> <p>【内容】:中心市街地を回遊する3コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加予定2,000人 ・記念グッズやドリンクサービスの提供 ・参加者が安心して参加できるよう安全面を考慮したコースを設定 ・市内外へ周知できるよう広報の強化、配置スタッフの増員や警備の強化に努める ・配置スタッフ増員には、若者のボランティア意識向上も兼ね、高校生・中学生などのボランティア募集なども実施 <p>【翌年度以降の取り組み】 新たな本市の魅力を発信できるコース設定による開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標:市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する ・基本施策・具体的な事業:高齢者になっても健康で自立した生活が送れる社会の実現。地域の健康づくり実践活動の推進。 ・KPI:健康寿命 H22 男性78.47才 女性83.16才 → H30 平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の増加

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	宇都宮ウォーキング フェスタ2017	宇都宮ウォーキング フェスタ2018	宇都宮ウォーキング フェスタ2019		宇都宮ウォーキング フェスタ2020
事業費	2,223,990	3,102,865	3,237,000	8,563,855	2,694,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,200,000	1,700,000	1,700,000	4,600,000	1,400,000
うち県交付金	600,000	850,000	850,000	2,300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,023,990	1,402,865	1,537,000	3,963,855	1,294,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	みんなでまちづくり課	
担当者名	小林 未侑	
連絡先	電話	028-632-2288
	FAX	028-632-3268
	E-mail	u2207@city.utsunomiya.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	宇都宮ウォーキングフェスタ	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	1,700,000	
参加負担金	900,000	参加者の参加負担金 @800×900人(事前申込), 1,000×180人(当日申込)
事業協賛金	220,000	歩け歩け大会への事業協賛金 8社程度
物品売上金	6,900	記念バッチ等の売り上げ
協議会繰越金	410,100	
計	3,237,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	40,000	0	0	40,000	交通指導員謝礼金
印刷製本費	610,000	100,000	50,000	510,000	周知パンフ, ポスター: 360,000 ゼッケン:142,560 コースマップ:57,240 完歩証:22,572 写真現像: 費目存置
修繕料	1,000	0	0	1,000	新聞広告掲載料
広告費	126,000	100,000	50,000	26,000	携帯電話使用料
使用料	77,000	0	0	77,000	振込手数料, クリーニング代等
手数料	3,000	0	0	3,000	事務用品(ペン類)事業用品 (PPロープ, トイレ紙ペー
消耗品費	70,000	0	0	70,000	会場設営, 警備, バッチ作 成, 備品作成等
委託料	1,646,000	1,500,000	750,000	146,000	参加証の郵送費等
通信運搬費	150,000	0	0	150,000	参加者の保険料
保険料	60,000	0	0	60,000	支援団体等への昼食代 参加者配布用菓子代
食糧費	170,000	0	0	170,000	費目存置
燃料費	1,000	0	0	1,000	費目存置
備品購入費	223,000	0	0	223,000	社団法人日本ウォーキング 協会負担金等
負担金	60,000	0	0	60,000	
計	3,237,000	1,700,000	850,000	1,537,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	宇都宮市
事 業 名	フェスタin大谷実行委員会交付金事業
事業主体の名称	フェスタin大谷実行委員会
代表者の名称	フェスタin大谷実行委員会 委員長 石下 光良
事業主体の所在	〒321-0345 宇都宮市大谷町1075番地 大谷石材協同組合内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:フェスタin大谷を推進し、「石の里・大谷」を中心とする城山地区の振興に寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成16年7月8日 ・構成員等:別紙名簿のとおり
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>地域の特徴・現状: 大谷石の産地であり、本市の唯一の観光地でもある大谷地区において、平成元年の陥没事故以降、東日本大震災発生等により、平成24年度までは大谷への観光客は減少傾向にあったが、平成23年度より休業していた大谷資料館において、平成25年4月からの開館に伴い、メディアへの露出が増えたことにより、観光客が増加に転じており、現在も増加傾向にある。「石の里・大谷」の魅力を市外県外に発信し、大谷への観光誘客促進を図る事業「フェスタin大谷」においても、上記大谷の現状を色濃く反映し、平成26年度に過去最高の来場者数を記録した。</p> <p>地域の課題・解決策: 現状での増加の背景は大谷資料館などを一部の施設を目的とした観光客が多いため、主にスポットで完結してしまう点での観光となっており、滞在時間が短く、回遊性も低いいため、経済効果薄い状況にある。今後は、観光客が様々な施設を回遊し、滞在時間の延長、回遊性の向上により高い経済効果を生むような、面での観光へのシフトを促すイベント実施を検討している。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>大谷地域の活性化を促すとともに、「石の里・大谷」の魅力を県内外に向けて広くPRし、誘客を図ることで、「大谷」のみならず城山地区全域の観光振興を図るもの。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度の実施内容 別紙『「第20回フェスタin大谷2019」事業計画(案)』のとおり ・翌年度以降の取組等 本市を代表する観光地である「石の里・大谷」における地元住民主体イベントによる地域活性化と大谷地域への誘客促進を図ることで、「大谷」のみならず、城山地区全域の観光振興を図るため、引き続きフェスタin大谷を開催する。また、平成29年度より、日中から夜間開催にすることで、大谷石あかりや大谷石の景観のライトアップなど夜の「石の里・大谷」の魅力在市内外に発信することで更なる観光誘客に繋げるため、フェスタin大谷を引き続き実施し、大谷地域の活性化、大谷観光振興に取組む必要がある。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>基本目標:本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。 KPI:本市年間観光入込客数 H22:1,353万人 H30実績:15,126万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	フェスタin大谷2017の開催	フェスタin大谷2018の開催	フェスタin大谷2019の開催		フェスタin大谷2020の開催
事業費	3,692,551	3,485,347	4,671,144	11,849,042	4,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	692,551	485,347	1,671,144	2,849,042	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光交流課 観光企画グループ
担当者名	大岩 藍生
電話	028-632-2437
FAX	028-632-5420
E-mail	kanko@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	フェスタin大谷実行委員会交付金事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
負担金	180,000	商工会議所等3件 大谷商工観光協会@30,000 商工会議所@50,000
協賛金	260,000	広告協賛52件 協力者 52件×5,000円
交付金	3,000,000	宇都宮市交付金
事業収入	1,030,000	ブース出店料15店舗等 ブース出店料@15店舗×2,000円 プロジェクションマッピング@500円×2,000人
繰越金	201,136	前年度繰越金
諸収入	8	預金利子
計	4,671,144	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
消耗品費	61,581	10,000		51,581	事務用品購入代
食糧費	50,000	50,000		0	会議用飲み物代 イベント参加者弁当代
印刷製本費	210,000	210,000	100,000	0	チラシ、ポスター等印刷費
光熱水費	13,000			13,000	電気使用料
通信運搬費	23,000	20,000		3,000	郵送料
広告費	300,000	150,000	75,000	150,000	SNS広告宣伝料
手数料	66,000	60,000		6,000	傷害保険料 振込手数料
委託料	3,947,563	2,500,000	825,000	1,447,563	会場等設営撤去運搬委託料
				0	
計	4,671,144	3,000,000	1,000,000	1,671,144	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	うつのみや食育フェア実行委員会交付金事業
事業主体の名称	うつのみや食育フェア実行委員会
代表者の名称	うつのみや食育フェア実行委員会 会長 佐藤 栄一
事業主体の所在	宇都宮市竹林町972番地(宇都宮市保健福祉部保健所健康増進課内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:うつのみや食育フェアを通じて、市民一人ひとりが食育の重要性を理解し、健全な食生活を送れるよう、食育の普及及び啓発を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成18年5月26日</p> <p>・構成員等:宇都宮市食育推進会議、宇都宮市食生活改善推進員協議会、宇都宮農業協同組合ほか26団体の代表者計32名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>本事業は、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、家庭、学校、地域、企業など多様な取組主体と連携し、食に関する知識の普及と体験の機会を提供することで、市民に食育の重要性について啓発することを目的とし、平成18年度から開催している。</p> <p>本市では、本事業やその他食育に関する事業を推進してきた結果、市民の食育の認知度は向上してきたが、依然として若い世代の食育の実践や、働く世代のメタボリックシンドロームの予防改善が課題となっている。また、本事業が秋のイベントとして市民に定着してきている一方、近年の参加者数は横ばいとなっており、参加者を増やすための催事や広報の取組が課題となっている。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、家庭、学校、地域、企業など多様な取組主体と連携し、食に関する知識の普及と体験の機会を提供することで、市民に食育の重要性について啓発する。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>1 実施日時 平成31年10月6日(日) 午前10時～午後3時</p> <p>2 会場 宇都宮城址公園</p> <p>3 周知方法 チェラン、ポスターを始め、SNSによる情報発信やラジオ等を活用した広報を実施し、多くの市民に来場いただけるよう周知を図る。</p> <p>4 内容</p> <p>(1) 出展ブース:食育に関する情報提供ブース、試食・体験ブースなど(昨年度実績87ブース)</p> <p>(2) ステージ:食育関係表彰式、集客性のあるステージイベント(調理披露等)など</p> <p>(3) その他:会場内を巡るクイズラリーなど</p> <p>【平成32年度以降】</p> <p>更なる食育の普及と啓発に向け、多様な取組主体と連携・協力のもと、催事の充実度を高めていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>・基本目標:市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する</p> <p>・基本施策・具体的な事業:高齢者になっても健康で自立した生活を送りながら、あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。</p> <p>・KPI:健康寿命 H25(男性78.58歳、女性83.17歳)⇒R4(平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の増加)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第13回うつのみや食育フェア開催	第14回うつのみや食育フェア開催	第15回うつのみや食育フェア開催	/	第16回うつのみや食育フェア開催
事業費	7,600,514	6,575,685	6,575,685	20,751,884	6,575,685
市町支出金 (ソフト事業分)	6,619,540	5,755,000	5,755,000	18,129,540	5,755,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	980,974	820,685	820,685	2,622,344	820,685

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課企画グループ
担当者名	緑川 慎也
電話	028-626-1128
FAX	028-627-9244
E-mail	u19070500@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	うつのみや食育フェア実行員会交付金	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	5,755,000	宇都宮市からの交付金
協賛金	750,000	企業、団体等協賛金
諸収入	70,685	備品使用料等
計	6,575,685	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	148,685	100,000	50,000	48,685	封筒, プリントインク, 文具等
通信運搬費	75,000			75,000	郵送料, 切手等
食糧費	65,000			65,000	弁当代
保険料	6,000	6,000		0	生産物賠償責任保険, レクリエーション保険
報償費	5,000	5,000	2,500	0	講師謝金
使用料及び賃借料	75,000	50,000	22,500	25,000	きぶなバス無料利用代, 発電機レンタル料等
委託料	6,200,000	5,594,000	925,000	606,000	企画運營業務委託料
予備費	1,000			1,000	
				0	
				0	
計	6,575,685	5,755,000	1,000,000	820,685	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	宮っこフェスタ2019
事業主体の名称	宮っこフェスタ実行委員会
代表者の名称	渡辺 道仁
事業主体の所在	宇都宮市旭1-1-5
事業主体の概要	<p>・団体の目的:宮っこフェスタの開催を通じて、家庭・地域・企業・行政等のネットワークを構築するとともに、宮っ子に同世代・異世代との交流の場を提供し、もって子育て・子育てに係る社会全体の機運を醸成する。</p> <p>・設立年月日:平成20年7月15日</p> <p>・構成員等:宇都宮市青少年育成市民会議、宇都宮市私立保育園協会、宇都宮市女性団体連絡協議会、宇都宮市女性団体連絡協議会、男女共同参画社会の実現を目指すうつのみや市民会議、宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会、宇都宮中心商店街活性化委員会、宇都宮商工会議所、株式会社 下野新聞社、株式会社 エフエム栃木、株式会社 とちぎテレビ、宇都宮市教育委員会、宇都宮市子ども部</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>宮っこフェスタでは、子どもたちに商店街の方々と多くの市民とのふれあいを通じて、働くことの大切さや尊さなどを実感してもらいきっかけを提供することを目的として、「職業体験活動」を実施している。</p> <p>申込数は募集定員の2.5倍近くあることから、引き続き受入人数を拡大させるため、商店等での受け入れ拡大や、関係機関・団体等からのボランティアの協力を得ていく必要がある。</p> <p>また、伝統工芸品などの物づくりを体験できるブースが昨年度始めて出展し、素晴らしさや達成感を実感する子どもの様子も見られたことから、企業の協力を得て伝統工芸や技能職に関わる体験ブースの充実について検討する必要がある。</p>
事業目的	<p>「次代を担う宮っ子たちが夢や希望を持って健やかに育つことができる社会」また「誰もが子どもを安心して生み育てることのできる社会」の実現のために、家庭・地域・企業・行政等が一体となって、宮っ子に同世代・異世代との交流の場や、子育ての楽しさを実感できる場を提供し、子育てを社会全体で支え合う機運を醸成するもの。</p>
事業概要	<p>宮っ子に同世代・異世代との交流の場や、子育ての楽しさを実感できる場を提供するため、「宮っこフェスタ2019」を開催する。</p> <p>【開催日時、場所】令和元年10月12日(土)、宇都宮市中心市街地4会場 (オリオンスクエア、パンパひろば、まちなか商店街、宇都宮市民プラザ)</p> <p>【内容】・オリオンスクエアステージでの「青少年の日頃の活動成果発表」や家族で参加する「仮装コンテスト」の実施 ・小学校4～6年生を対象とした街なか商店街の実店舗における「職業体験」の実施 ・パルンアート体験や工作など、青少年への体験活動の提供を目的とした体験ブースの設置 ・歌遊びやダンス、劇などの未就学児親子が楽しめるステージイベントの実施 ・未就学児から小学生を対象に、まちなか商店街の6か所でお菓子とスタンプがもらえるスタンプラリーの実施 ・「ふれあいのある家庭づくり作品コンクール」の表彰式と入賞者の表彰(「家庭の日」運動と連携)</p> <p>【翌年度以降の取組】 今後も子どもたちに同世代・異世代の交流の場や様々な体験機会を提供することができるよう、実行委員会の構成団体や関係機関、団体との連携を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:全ての子ども・若者を健やかに育成する 基本施策:全ての子ども・若者が自主的・主体的に活動でき、地域の中で心身ともに健やかに育つことが出来る環境づくりを推進 指標:宇都宮で子育てをしていきたいと思う親の割合 H28年現在値95.9%⇒H34目標値98.5%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

事業内容	31年度	32年度	年度	支援期間の	支援期間の
				事業費計	翌年度
事業内容	宮っこフェスタ2019	宮っこフェスタ2020		/	宮っこフェスタ2021
事業費	4,808,620	4,808,620		9,617,240	3,815,000
市町支出金(ソフト事業分)	3,808,620	3,808,620		7,617,240	2,527,000
うち県交付金	1,000,000	2,000,000		3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000	1,288,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	子ども未来課健全育成グループ
担当者名	鈴木 友樹
電話	028-632-2344
連絡先 FAX	028-638-8941
E-mail	miyakko-festa@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	宮っこフェスタ	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	2,527,000	
協賛金	648,000	イベント広報誌「宮っこ新聞」企業広告協賛
負担金	568,000	構成団体・出展者等負担金, 職業体験参加者負担金等
県補助金	1,000,000	わがまち未来創造事業補助金
雑収入	9	預金利子
繰越金	65,611	
計	4,808,620	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市交付金	県交付金		
委託料	3,867,000	3,067,000	800,000	800,000	会場設営・警備業務 広報紙製作・広告募集業務 広報紙発送業務 ホームページ改修業務
消耗品費	523,000	373,000	150,000	150,000	職業体験参加者配布用ポロ シャツ等
広告費	186,000	186,000		0	新聞, ラジオ, テレビ広告
備品購入費	150,000	100,000	50,000	50,000	スタッフID証, 立て看板等
使用料及び賃借料	23,000	23,000		0	音響機材, 会場備品借用代 等
通信運搬費	7,000	7,000		0	本部携帯電話代, 郵送代
手数料	2,620	2,620		0	道路占用許可印紙代等
食糧費	20,000	20,000		0	ボランティア学生の昼食代
傷害・損害賠償保険料	22,000	22,000		0	参加者の保険料
報償費	5,000	5,000		0	ステージ司会者等
会議費	3,000	3,000		0	会議用お茶代等
計	4,808,620	3,808,620	1,000,000	1,000,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	未来につなげよう～わたくしたちのまち プロジェクト
事業主体の名称	細谷・上戸祭地域まちづくり協議会「未来につなげよう～プロジェクト」実行委員会
代表者の名称	会長 大谷 和夫
事業主体の所在	宇都宮市細谷1-4-38(細谷地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:細谷・上戸祭地域が持つ様々な資源や特色、地域に潜在する地域住民のやる気や熱意を活かし「細谷・上戸祭地域の魅力や個性の発信」「賑わいの創出による交流人口及び流入人口の増加」等、地域住民の創意工夫に溢れる活動を実践することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成15年4月1日</p> <p>・構成員等:細谷・上戸祭地区の各自治会やまちづくり組織及び関係機関・団体と学識経験者・公募委員をもって構成する。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>細谷・上戸祭両小学校の通学区域には、約17,000人の方々が居住されていて、幼・保・小・中学校から高校・大学、特別支援学校もあり、史跡や遺跡が数多く点在し、いまだ緑が豊かで、暮らしに欠かせない診療所や商店・スーパーマーケット・コンビニ・郵便局・銀行・路線バスなども充実して利便性に優れた暮らしやすいまちとなっています。しかしながら、私たちの住む、この細谷地域を「10年後、20年・30年後」も「暮らしやすいまち」「住みやすいまち」「住んでいてよかったまち」「これからもずっと住み続けたいまち」であり続けるためには・・・。選ばれるまちに向けて「細谷地域の魅力を内外に発信して多くの地域内外の人々との交流を深め「交流人口・流入人口」の増加を積極的かつ継続的に図ることが課題である。</p>
事業目的	<p>上記の課題解決のために次の事業を継続的に展開するものである。</p> <p>・選ばれるまちに向けて「細谷・上戸祭地域の魅力」を内外に発信 ・地域内の「文化財や遺跡・史跡」の環境保護保全活動</p> <p>・交流人口及び流入人口の増加を図る ・農業生産者の意欲向上 ・咲かせよう～地域内全体をひとつの花壇にしよう運動の実施 ・地域コミュニティを醸成 ・地域の魅力を再発見できるウォーキングマップを作成して地域の賑わいづくり</p>
事業概要	<p>【イベント】</p> <p>事業名:細谷地域「未来につなげよう～わたくしたちのまち」ふれあいフェスタ</p> <p>日時:平成31年11月10日(日)08:00～15:00(7時間程度)</p> <p>場所:宇都宮市立細谷小学校校庭・体育館(候補地)</p> <p>主催:細谷・上戸祭地域「未来につなげよう～プロジェクト」実行委員会</p> <p>周知方法:地区のHP・ブログでの発信や自治会での回覧、新聞折込によるチラシ配布、関係施設でのポスター掲示、宇都宮市「広報うつのみや」への掲載など、あらゆる機会を通して周知する。 イベント会場では、新米の試食や地域活動PRブースを設置し地域内の魅力を発信する。</p> <p>内容:</p> <p>○ブース:細谷・上戸祭地区で収穫された新米等をブースで試食販売(予約販売を含む) 地区内の新米、農産物や花卉などの販売。 加工品の販売</p> <p>○アトラクション:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内に伝わる伝統芸能(お囃子など)の披露 ・宇都宮中央女子高校、陽西・星が丘・宝木中学校の生徒による合唱、プラスバンド等の競演 ・文星芸術大学生による作品展示会 ・地区内消防団第10・11分団による操法訓練披露、消防ポンプ車の展示及び撮影会 ・大道芸人等によるステージなど <p>【2020年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の効果を検証し、集客につながる地域の魅力をPRするための方法を検討を行っていく。 ・地域の参加を積極的に推進し、ブースの増設などイベントの規模の拡大を図ることで新たな来場者を確保する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくりを進める。 自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	「未来につなげよう～わたくしたちのまち」プロジェクト ふれあいフェスタなど実施 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施	「未来につなげよう～わたくしたちのまち」プロジェクト ふれあいフェスタの実施 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施	「未来につなげよう～わたくしたちのまち」プロジェクト ふれあいフェスタの実施 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施		「未来につなげよう～わたくしたちのまち」プロジェクト ふれあいフェスタの実施 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施
事業費	1,000,000	300,000	300,000	1,600,000	300,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	500,000	300,000	300,000	1,100,000	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	北市民活動センター
担当者名	大栗
電話	028-622-7093
連絡先 FAX	028-622-7093
E-mail	u47090004@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「未来につなげよう～わたくしたちのまち」プロジェクト	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	500,000	
計	1,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	100,000	50,000	25,000	50,000	出演団体実費弁償
消耗品費	270,000	220,000	110,000	50,000	名所・旧跡表示板、花の種子、イベント開催用各種消耗品
食糧費	90,000	0	0	90,000	会議用お茶、スタッフ用弁当
印刷製本費	150,000	150,000	75,000	0	会議用資料印刷費、チラシ、ポスター、マップ
通信運搬費	30,000	0	0	30,000	会議、イベント等案内状送付料
委託料	100,000	50,000	25,000	50,000	文星芸大へのマップ・ポスター等デザイン製作費
使用料及び賃借料	30,000	30,000	15,000	0	楽器運搬等レンタカー借用料
備品購入費	230,000	0	0	230,000	パソコン 1台、ポップコーン製造機 1台
				0	
				0	
計	1,000,000	500,000	250,000	500,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	「旧仮本陣芦谷家」を活用したまちづくりの拠点化事業
事業主体の名称	雀宮地区まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 稲葉 豊
事業主体の所在	宇都宮市新富町9-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:雀宮地区内の各種団体、関係機関の連絡調整を図り、必要な実践活動を通して、地区の活性化、住民福祉の向上に寄与するとともに、住民によるまちづくりを推進することを目的とする。 ・設立年月日:平成15年4月1日 ・構成員等:雀宮地区の自治会、各種団体、機関、その他ボランティア等地区内で活動する団体などをもって組織
当該事業に係る地域の現状と課題	JR雀宮駅西側の国道4号沿線は、かつて日光街道の宿場町「雀宮宿」として栄え、本陣や脇本陣、仮本陣があったが、唯一現存するのが「旧仮本陣芦谷家」であり、この歴史的建造物を保存・活用し、まちの歴史や暮らしの文化等を次世代に伝えていく必要がある。また、雀宮地区内には、数多くの史跡等が点在しているが、来街者に対する案内や情報提供が十分とは言えない状況であったことから、本市の南の玄関口であるJR雀宮駅に近接する立地条件を活かし、まちづくりや情報発信の拠点として、地域の活性化や交流人口の増加につなげていく必要がある。
事業目的	宇都宮市の南の玄関口として栄えた宿場町「雀宮宿」に唯一現存する「旧仮本陣芦谷家」を保存・活用することで、地域住民の地域への誇りや愛着を高めていくとともに、まちづくりの情報発信拠点として活用することで、地域の活性化や交流人口の増加に繋げていく。
事業概要	<p>雀宮宿の仮本陣芦谷家を拠点としたイベントを通し、まちの歴史・暮らしの文化について認識を深め、次の世代に残していくべきまちの景観について考え創造につなげていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実施日時:令和元年11月1日 2. 場所:仮本陣芦谷家 3. 内容 <ul style="list-style-type: none"> 1)仮本陣芦谷家の開設記念イベントを開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮工業高等学校と共催でイスや机等を製作し、雀宮の拠点としての利便性を図る。 ・だれもが雀宮宿のまち歩きをできるよう看板やちらし等を作成し、仮本陣芦谷家や雀宮宿に関する情報発信を図る。 ・地元野菜の朝市を開催。 ・観光案内の拠点としてテレビモニター等を設置し、映画祭を開催する。 ・お茶会や箏の演奏会、模擬店などを実施する。 <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮本陣芦谷家を「(仮称)すずめ宿」として雀宮の拠点とし、イベントにて活用することで、歴史的文化遺産に対する住民のより一層の誇りや愛着を高めながら持続的な地域コミュニティの発展拡大に繋げていく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくりを進める。</p> <p>自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	「すずめ宿」開設イベント ・地元野菜の朝市 ・映画会 ・模擬店 ・お茶会、箏の演奏会	「すずめの宿」を雀宮の拠点として活用 ・映画会 ・駅からハイキング	「すずめの宿」を雀宮の拠点として活用 ・映画会 ・雀宮宿のまち歩き		「すずめの宿」を雀宮の拠点として活用 ・映画会 ・駅からハイキング
事業費	650,000	100,000	100,000	850,000	100,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	150,000	100,000	100,000	350,000	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市雀宮地区市民センター
担当者名	尾崎 光法
電話	028-654-1013
FAX	028-653-5646
E-mail	u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	旧仮本陣芦谷家を使ったまちの駅の拠点化事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	150,000	
計	650,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	50,000	30,000	15,000	20,000	講師謝金
消耗品費	235,000	200,000	100,000	35,000	事務用品, コピー用紙, 木材, 釘, LEDライト等
印刷製本費	30,000	20,000	10,000	10,000	チラシ
通信運搬費	5,000	0	0	5,000	郵送料
備品購入費	330,000	250,000	125,000	80,000	TVモニター, DVD機器等
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	650,000	500,000	250,000	150,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	「わがまち西原」魅力発見事業
事業主体の名称	西原地域コミュニティ協議会
代表者の名称	岩本 正男
事業主体の所在	宇都宮市西原二丁目5番42号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 西原地区内の各種団体相互の連絡調整及び協力を図ることにより、地域の活性化と住民福祉の向上に寄与し、もって地域住民による「まちづくり」を推進することを目的とする。 設立年月日: 平成15年5月24日 構成員等: 西原地区内の自治会、各種団体、機関、その他のボランティア等、地区内で活動する団体等
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域内に多くの地域資源(各所旧跡・歴史的資産等)があるにも係らず、その魅力を活かしてきていない。宇都宮の古い歴史が薫るこの地域において、地域資源を活用しながら地域住民が主体となって、地域づくりに取り組むことにより、持続的に地域で活躍する人材の育成・確保につなげていくことさらには、これからの少子高齢化社会においても地域コミュニティの維持・活性化が求められている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 平成から令和へと新しい時代を迎えたこの機会に、西原地区の歴史や伝統文化に光を当てその価値を共有することで、住民自身が地域の魅力を再認識するとともに、地区外にも西原地区の魅力を発信することで交流人口の拡大を図る。 地域住民がともに活動する機会を創生することで西原地区の長期的なまちづくりに向けた基礎を築き、地域に対する誇りと愛情を持った「ひとづくり」の推進と「地域づくり」を実現する。
事業概要	<p>〇栃木、壬生、楡木などの各方面から宇都宮城下に入る要衝の地として残る六道の名や戊辰戦争の記憶のほか、汗かき阿弥陀など多くの歴史文化資源や地域で活躍する人材に光を当て、地域住民がこうした地域資源に直接触れ、理解する取り組みを創出する。</p> <p>①「こどもみこし祭り」に合わせた地域内所めぐり(開催日: 令和元年5月5日(日))※令和2年以降は7月に開催予定 各自治会のみこしを出御し、幼児、児童、保護者に地区内を練り歩き、沿道の住民に応援いただく事業に合わせ、地区内の史跡旧跡(新町ケヤキ・新川さくら・六道間廣堂、戊辰戦士墓所)を巡回し、各所にてその由来を解説し、地区の歴史と伝統に触れさせる。途中に休憩所を設置し、地元住民の協力により、飲み物や果物を提供し、地域ぐるみの取り組みとする。改元記念となる31年度は、旧大黒町花屋台や桃太郎山車の巡行と併せた開催とし、地区内外に効果的に周知する。</p> <p>②「ほたる祭り」に合わせた地域人材の紹介、ピオトープの整備(開催日: 令和元年6月22日(土)) 西原小学校行事として行う3年生児童のピオトープへのホタル幼虫(100匹)の放流に加え、地域住民が参加してピオトープの拡充を図り、6月に新たに成虫200匹を放ち、地域ぐるみの蛸鑑賞会にしていくとともに、地区内で湧出する湧水の周知や、地元アーティストの演奏機会の提供などにより、地域の誇りの醸成や地域内外の住民の交流の促進を図る。</p> <p>③「新川さくら祭り」に合わせた地域自慢の促進(開催日: 令和2年3月28日(土)~4月11日(土)) 開催期間中、地区内外から約2万人が訪れる新川桜さくら祭りに合わせて、西原地区の歴史や地域資源を紹介するスペースを設けるとともに、地域の魅力を紹介できる人材を育て、地域住民や訪問者が地域の魅力を改めて知ることができる機会を創出していく。</p> <p>このため掲示や展示スペースの充実を図るほか、ポンポリの拡充やトイレの確保、青葉学園と連携した駐車場の確保などのほか、開催初日の式典においては西原子どもお囃子会の演奏や一条中学校の合唱部・吹奏楽部の演奏、西原小学校の入学予定児童を迎えるの歓迎式のほかカラオケ大会を行うなど、子どもから高齢者まで地域ぐるみで参加し、楽しむことができる事業として工夫を図る。</p> <p>【令和2年度以降】 ほたる祭り、こどもみこし祭り、新川さくら祭りなどの地域ぐるみの事業を通じて、地域資源や人材の発掘や周知、活躍できる場の創出を継続的に進めていく。</p> <p>【周知方法】 コミュニティ協議会が発行する地域情報紙(年3回発行)のほか、回覧やポスターなどで周知を図る。また、市の広報紙やタウン誌、下野新聞やミヤラジに情報提供する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る 【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。 自治会加入世帯数H27.4 現在: 147,810 世帯 → H31: 148,810 世帯</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位: 円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知	こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知	こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知		こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知
事業費	1,040,000	580,000	600,000	2,220,000	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	540,000	580,000	600,000	1,720,000	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	中央市民活動センター
担当者名	高瀬 敦子
電話	028-632-6331
FAX	028-639-7579
E-mail	u47090100@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「わがまち西原」魅力発見事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	540,000	まちづくり協議会, 連合自治会負担金, 協賛金, 広告料
計	1,040,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償金	100,000	60,000	30,000	40,000	解説ガイド講師, 出演アーティスト謝金等
消耗品費	200,000	40,000	20,000	160,000	ぼんぼり, ホタル購入, 飾り付け用消耗品等
印刷製本費	100,000	80,000	40,000	20,000	チラシ, ポスター, 解説用パネル作成等
使用料及び賃貸料	120,000	60,000	30,000	60,000	仮設トイレ, カラオケ使用料等
委託料	200,000	60,000	30,000	140,000	ステージ, ぼんぼり設置, 電気工事等
食糧費	100,000		0	100,000	スタッフ弁当, 講師用お茶等
備品購入費	220,000	200,000	100,000	20,000	折り畳み机, 照明用ライト等
				0	
				0	
				0	
計	1,040,000	500,000	250,000	540,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	東地域【花のゆりかご みどりのさとおや】事業
事業主体の名称	東地域まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 小島 弘義
事業主体の所在	宇都宮市東埜田1-6-14(東地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:東地区内の団体及び個人の相互の連絡調整及び協力を図ることにより、地域の活性化と住民福祉の向上に寄与し、地域住民によるまちづくりを推進する。</p> <p>・設立年月日:平成15年4月1日</p> <p>・構成員等:東地域内で活動する各種団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>東地域は宇都宮丘陵の南端二荒山神社田が峰・八幡山と、宇都宮を南北に流れる田川の間に位置し、JR宇都宮駅や県庁からも近く利便性の高い地域である。しかしながら、近年は高齢化率の上昇や空き家の増加、それにとまなう東小学校の児童数の減少など、地域の活性化に大きな影響を及ぼす課題が顕在化している。</p> <p>少子高齢化は地域活動にも影響を及ぼしており、今後、地域が持続的に発展し続けるためには、子どもから高齢者まで世代間の交流を深め、顔の見える関係作りを主眼に、地域を活性化することが必要である。</p>
事業目的	<p>【主題】花々を育てまちに増やしていくことで、人々の心をつなげ、育てていく事業とする。</p> <p>・補助金を活用し住民自らの手で花を育て増やし、地区のシンボルとなる花にあふれた美しい街の景観を創出し、住民自らの地域への愛着を育てるとともに、地域外からの来訪者にも安らぎを与える魅力的なまちづくりを行う。</p> <p>・地区住民に愛されている東小学校を核に地区内外に広がる事業を組み立て、小学生から高齢者まで幅広い層の住民が気軽に参加し交流を促すことで、今後のまちづくりの担い手として協働意識を育み事業を展開する。</p> <p>・地区内の緑化推進団体や各公園、河川愛護会などそれぞれが地道に実施している活動が、高齢化等により維持継続が難しくなりつつある現状を踏まえ、地区住民が支えあい、絆を強める事業とする。</p>
事業概要	<p>○東地区【花のゆりかご みどりのさとおや】事業</p> <p>《花をみんなで育てる、増やす》</p> <p>地区内東小学校をはじめ、緑化部会、公園愛護会などが管理する花壇や空き地を圃場とし、芝桜やペチュニアなど人気が高く、株を増やすことができる花苗を、児童、高齢者、PTAなどが協力し育て、増やす。</p> <p>《花を増やし、地区に生かす》</p> <p>増やした花を公共用地やシンボリックな場所に地域住民協働により移植し、街の景観を高めるイベントを実施する。具体的には、植栽樹が伐採されたままとなっている宇商通りの植栽柵や田川土手沿いなどから着手する予定</p> <p>《花をバトンに住民の心をつなぐ、花リレー》</p> <p>継続的に花を増やしていくことで、住民の手から、住民の手へまちづくりのシンボルとして花苗がリレーされ、地区内各家庭の庭先に、花があふれる魅力的で美しいまちにしていく。</p> <p>○事業スケジュール</p> <p>【令和元年度】</p> <p>・地域広報誌・地域ブログを介し、広く地域内外に「みどりのさとおや」を公募する。希望者を対象に講習会を開催。みどりのさとおやを主体に地区内の公園、東小学校を涵養ヤード(圃場)に花苗を植栽・増殖する</p> <p>令和元年 夏～初秋 夏まきの多年草を植栽する。(ペチュニア・カラハーフを植栽)</p> <p>令和元年 秋～初冬 秋まきの多年草を植栽する。(ハンジュー・ビオラを植栽)</p> <p>令和2年 晩冬～ 春まきの多年草を植栽する。(芝桜を植栽)</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>東小学校の花壇の一部・犬走の一部を涵養ヤードとし、増えた株を地域内外に再分配をしていく。本事業の要は涵養ヤードを設定し初期費用で購入した花苗を末永く継続的に株分けし増やし続けることである。(芝桜の株分けは初秋、当初年2割程度の増加を目標としたい。)</p> <p>【周知方法】</p> <p>地域ブログ、回覧などを利用して植栽を周知する。事業協力者間の交流をはかる植栽祭を行い、回を重ねることで活動参加者の拡大をはかる。</p> <p>【事業継続のためには】</p> <p>・地域内外にスポンサーを募る。</p> <p>広報誌「なのはな」、地域ブログを通じ「みどりのさとおや」の募集と共に「花のあしながおじさん」(仮称)としてスポンサー(事業継続のための協賛者)を募り、本事業を末永く継続するため地域意識を醸成させる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】地域内外の世代間交流機会を増やす。【KPI】現在、年5回の交流機会を年10回以上に増やす。

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	31年度	32年度	33年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・みんなで育てよう 「草花の植栽」バトン	・みんなで増やそう 「草花の株分け・植栽」リレー	・みんなで増やそう 「草花の株分け・植栽」リレー		・みんなで増やそう「草花の株分け・植栽」リレー
事業費	650,000	65,000	80,000	795,000	65,000
市町支出金	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	150,000	65,000	80,000	295,000	65,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市中央市民活動センター	
担当者名	安藤 亮一	
連絡先	電話	028(632)6331
	FAX	028(632)7579
	E-mail	u47090100@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	東地区【花のゆりかご みどりのさとおや】事業(仮称)	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	150,000	
計	650,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	304,100	281,000	140,500	23,100	芝桜 @200×500 ¥100,000- ペチュニア @350×100 ¥ 35,000- カラハープ @250×200 ¥ 50,000- ハンジーピオラ @100×200 ¥20,000- 園芸軍手 @200×50 ¥10,000- プランター @400×50 ¥20,000- 培養土 @630×50 ¥31,500- 腐葉土 @430×70 ¥30,100- 肥料 @250×30 ¥7,500-
印刷製本費	120,000	120,000	60,000	0	印刷代(広報誌作成) ¥120000-
食糧費	75,900	0	0	75,900	植栽時弁当及び飲料 ¥75,900- 内訳 @1265×30人×2回
燃料費	10,000	4,000	2,000	6,000	ガソリン・まき等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
備品購入費	100,000	75,000	37,500	25,000	耕運機 ホンダ エンジン式こまめ F220JT相当 くわ, スコップ, ショベル等
報償費	40,000	20,000	10,000	20,000	講師謝金10000×4回
計	650,000	500,000	250,000	150,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

※黄色で塗りつぶしたセル内をご記入ください。

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	峰地区みんなの夢実現事業
事業主体の名称	峰地区まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 塩竈 修一
事業主体の所在	宇都宮市峰3-20-17(峰地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	・団体の目的:峰地区の各種団体相互の連絡及び協力により、各種地域活動を活性化し、地域住民のコミュニティづくりと明るく・楽しい・住み良い・まちづくりを推進して、地域の発展と地域の福祉の増進並びに地域社会の向上を図ることを目的とする。
当該事業に係る地域の現状と課題	峰地区は宇都宮駅東地区の中核をなす地域であり、今後もその役割は不変と思われれます。少子高齢化の波は峰地区も例外ではなく押し寄せてきており、住民が安心して生活できる「安全なまちづくり」に向けた各種の取り組みを強化していく必要があります。これらの状況を踏まえて、目くばり、気くばり、思いやり、そしてつながりのある地区を作るための取り組みを行い、情報、知識の習得のみでなく住民間の交流を図り、互助機能の強化に取り組みたい。
事業目的	峰地区内外の人も参加できるイベントを企画し、防犯、防災、交通安全を中心とした内容で仮称「安全まつり」を開催し、各自治会単位に組織化ができるように知識の習得を図る。具体的な指導は警察、消防、交通安全協会などの協力を頂き具現化を図る。
事業概要	今年度より「峰地区秋の安全まつり」と題して毎年企画、実施し取り組みの趣旨の徹底を図る。・実施時期は11月中旬の土、日曜日のいずれかに開催する。(各協力団体と日程調整し具体的な日時を設定する。)・場所は峰小学校の校庭を開催場所とし、防犯、防災、交通安全に関する日常的に必要な知識を習得する。尚、全ての団体が揃わない時でも定期開催は行うこととし、企画の段階で内容の見直しを行っていく。開催時間は午前10時より16時をメドとして企画する。訓練の一環として炊き出しを行う。周知方法は初年度に看板を作り、ポスターを作成し地区内に掲示する。併せて自治会内部に於いては全戸配布の回覧、地区内各団体会議などを活用して出来る限りの広報を行っていく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る 【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。 自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	峰地区安全まつり 炊き出し	峰地区安全まつり 炊き出し	峰地区安全まつり 炊き出し		峰地区安全まつり 炊き出し
事業費	750,000	350,000	350,000	1,450,000	350,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金 (ハード事業分)					
うち県交付金				0	
その他自主財源等	250,000	350,000	350,000	950,000	350,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	峰地区みんなの夢実現事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
行政支出金	500,000	栃木県25万円、宇都宮市25万円
自主財源	250,000	峰地区まちづくり推進協議会、峰地区防災会、峰地区防犯会
計	750,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	70,000	40,000	20,000	30,000	講師謝礼
備品購入費	400,000	300,000	150,000	100,000	看板
印刷製本費	200,000	100,000	50,000	100,000	開催案内ポスター 各戸配付ポスター
消耗品費	80,000	60,000	30,000	20,000	防災、防犯、炊き出し用品購入
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	750,000	500,000	250,000	250,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	陽光太鼓を活用したまちづくり推進事業
事業主体の名称	陽光地区まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 小栗 秀夫
事業主体の所在	宇都宮市緑5-8-8(陽光地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 陽光地区内の各種団体・関係機関の連絡調整を図り、必要な実践活動を通して地域の活性化と、住民福祉の向上に寄与し、地域住民によるまちづくりを推進する。</p> <p>・設立年月日: 平成19年4月1日</p> <p>・構成員等: 陽光地区で活動する各種団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>陽光地区は、県が整備推進する総合スポーツゾーンに隣接し、緑豊かな自然が多く、近隣には大手スーパーや病院・医院等があり生活に便利な地区である。また、地域では年間を通して地域活性化のため多くの行事が実施されているが、高齢化率の上昇や児童数の減少が顕著で、行事への参加率が減少傾向にある。これは、今後の地域活性化に大きな問題を抱えることになり、これからも行事を継続していくためには、子どもから高齢者まで世代を超えた交流の再構築が重要となる。</p>
事業目的	<p>当地区は新興住宅都市として町が形成されたため、歴史的資源がほとんどない。しかし、地域では年間を通して多くの行事が実施され、協力体制は素晴らしい地域性である。そこで、地域の魅力をさらに高めるため、伝統文化である和太鼓や地域で活動する音楽グループによる音楽の祭典(陽光フェス)を地域住民主体で開催し、交流人口の増加と地域まちづくりの担い手を育成する機会とし、世代を超えた継続的な地域活動につなげていく。</p>
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>音楽の祭典(陽光フェス)の開催に伴い、下記に掲げる事業について、地域の各種団体、ボランティアなどが協力し実施する。</p> <p>1 音楽の祭典開催についての広報を行う。(ポスターやパンフレットを、地域の各種事業の際に配布、コミセン等行政機関窓口での配布を行う)</p> <p>2 開催日は地区文化祭開催期間(10月後半～11月前半)中とする。このとき、地区で開催される各種事業をPRし地域の魅力を発信していく。</p> <p>3 地区の魅力を発信するため新たに和太鼓演奏集団(陽光太鼓)を結成する。</p> <p>【平成32年度以降】</p> <p>継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する。新たな演奏者も加え、地域を挙げた祭典を開催する。</p> <p>陽光太鼓は、各種行事への参加・発表を実現していきたい。特に、当地区は総合スポーツゾーンに隣接するため、2020年東京オリンピック開催前の強化練習地として"ハンガリー"の選手団が来県するので、地元交流としての歓迎セレモニーでの演奏を披露したい。また、2年後の2022年には栃木国体が開催されるので、地元交流として演奏を披露したい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくりを進める。</p> <p>自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<p>○音楽の祭典(陽光フェス)の広報</p> <p>○陽光フェスの開催(10月下旬～11月上旬)</p> <p>○陽光太鼓演奏団の結成</p>	<p>○継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する</p> <p>○音楽を通して地域の魅力を発信する。</p>	<p>○継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する</p> <p>○音楽を通して地域の魅力を発信する。</p>		<p>○継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する</p> <p>○音楽を通して地域の魅力を発信する。</p>
事業費	500,000	80,000	80,000	660,000	80,000
市町支出金(ソフト事業分)	400,000	0	0	400,000	0
うち県交付金	200,000	0	0	200,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	100,000	80,000	80,000	260,000	80,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市
-----	------

単位事業名	陽光太鼓を活用したまちづくり推進事業
-------	--------------------

対象年度	31	年度
------	----	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	400,000	
地元負担金	100,000	
計	500,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品	20,000	16,000	8,000	4,000	印刷用紙 DVD インクジェット 事務用品等
通信運搬費	10,000	8,000	4,000	2,000	郵送料等
備品購入費	430,000	344,000	172,000	86,000	太鼓 鉦 笛 等一式 音響機器一式
賃借料	10,000	8,000	4,000	2,000	練習部屋借料等
報償費	20,000	16,000	8,000	4,000	講師謝金等
印刷製本費	10,000	8,000	4,000	2,000	チラシ・パンフレット印刷 会議資料印刷等
			0	0	
			0	0	
計	500,000	400,000	200,000	100,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
 具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。